

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
34	川崎市立 下河原小学校	菊地 美和子

学校教育目標	今年度の重点目標
やさしく たくましく 考える子 共に学ぶ子 ○安心安全で美しい学校 ○通いたい通わせたい学校 ○児童も職員も笑顔でわくわく ○未来につながる学び合い ○地域(故郷)の中で共に生きる	合言葉 「みんなでキラリ下河原」 ○確かな学力「豊かに学び合う主体的・対話的で深い学びの充実」 ○豊かな心情「人権尊重・道徳教育・支援教育 主体的な活動の推進」 ○健やかな体「健康安全・防災防犯・食育・運動・体力づくりの充実」 ○開かれた学校「地域に親しみ輝く未来を創る」

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 「わかる」「たのしい」授業の工夫、思いや願いを伝え、考える子の育成	一人一人の発達を支援する学習状況に応じたきめ細やかな指導。何を学ぶかどのように学ぶかを追究するねらい達成の道筋が明確な授業。授業形態の工夫	「わかる」「楽しい」授業と答えた児童は90%以上、全体で5%上昇、教職員の回答が30%上昇。楽しくないと感じる児童が減少する工夫と個への支援に努める。	今後も主体的・対話的な関りを通して学びを深め、豊かに表現する力を育む。困りに寄り添う授業を公開し、保護者と協力して指導に努める。
2 「話を聞く」「話す」「文字や文章を書く」力の育成。家庭教育との融合	かわさきGIGAスクール構想に根ざした個別最適な学びと協働的な学びの創造。「やってみよう 共に考える楽しい学び」のテーマに沿った校内研究と職員研修	90%以上の児童・保護者が「思いや願いを表現して自分で考える力」が身に付いたと回答。家庭学習については在り方や必要性の共通認識と系統性を考える。	個別最適な学びのために3年生以上は夏休みと冬休みにGIGA端末を持ち帰った。家庭学習の充実という視点での持ち帰りや活用を、次年度の課題とする。
3 挨拶の輪を広げ、ありがとうが言える、思いやりと感謝の気持ちを育む	地域に挨拶の輪を広げる。自主性を育むクラブ・委員会・集会活動の充実。いじめは許さない学校風土の醸成。エネルギー・環境子どもワークショップへの参加	「あいさつ ありがとう」「思いやり 感謝する心」90%以上が思うと回答。いずれも、児童と保護者の「思わない」との回答が減少した。	穏やかに肯定的に生命や人権にかかわるときは毅然と接する。子どもの声に耳を傾ける。「自分の体と心は自分だけのもの誰も脅かしてはならない」指導の継続
4 友達と協力して活動する、めあてに向かって粘り強くやり通す	SDGsの視点に立ち探求的な学びをめざした教育課程。小規模校の強みを生かしたレインボー班(縦割り)活動。朝会で生活目標の振り返りを発表する。	「友達と協力して活動する」「粘り強くやり通す」の回答が95%。「思わない」の回答が0%は一定の成果の表れだと捉えている。	特別活動やキャリア在り方生き方教育研究の成果と、小規模校の強みを生かしたレインボー班活動を継続して、次世代のリーダーを育てていく。
5 進んで運動に取り組む、手洗い・水分補給等の感染症・熱中症予防対策	全校児童が参加する木曜中休みのキラキラタイム。浸水被害に備えた垂直避難訓練。不審者対応訓練。感染症防止対策と心身の健康づくりのための健康教育	木曜日の中休みは全校児童が外に出て体を動かしており、児童の「思う」の回答が60%を超えた。手洗いと水分補給は90%を超えた。換気の慣行も続けていく。	「自助 共助 公助」を実行できている。命はみんなで守ると高い意識の表れを認め励まして、安全で安心な学校創りに努めていく。
6 学校のきまりや交通ルールを守って安全な生活を送る	下河原スタンダードの活用と「みんなのやくそく」の見直し。みんなの校庭プロジェクトに児童の考えを取り入れて実行していく。校内相談ポストの設置と活用。	児童・保護者共に95%以上が「学校のきまりや交通ルールを守って、安全に気を付けて生活している」と回答。年度内にみんなの校庭プロジェクトを試行する。	大人も子どもも気持ちにゆとりをもち、落ち着いて過ごすことが安全・安心につながる。大人が手本となり、他者への配慮ができる子どもを育成する。
7 教えていただいたり、触れ合ったりする学習を通して、地域の方と繋がる	PTA活動(スマイルフェスティバル)、2年生のダンス披露、4年生の敬老会参加で地域とつながる。学校・学年・保健・給食だより、学校WEBサイトの充実	楽しい、楽しめる学習内容の工夫は95%以上と肯定的な結果となった。外部講師を招いたり、校外に出向いたり学習活動の成果である。次年度も継続して行う。	元に戻すのではなく、必要を吟味して活動を取り入れてきた。今年度の活動を次年度も継続することで、一人一人の子どもを6年間かけて育てていきたい。
8 学校の行事に楽しく参加し、進んで活動する	1年生を迎える会、多摩川遊び、スポーツフェスティバル、川崎市100歳おめでとう集会、音楽集会、感謝の会、6年生とのありがとう集会、お別れ式を実施した。	全体として95%が楽しく参加し、進んで活動している。保護者や地域の方々のあたたかな眼差しを支えに、児童の成長を喜び合える関係性を構築していく。	授業参観、学校説明会、懇談会、個人面談、学校行事、学校公開日、学校報告会を通して学校を開き思いや願いを共有し学校評価を生かした学校運営を行う。

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ・次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会での発表は、皆で相談して決めた事柄を、原稿やスライドを作り、方法を工夫して子どもの言葉で伝えていて感動した。町内会にも協力を呼び掛けたい。 アンケート結果では先生の頑張りがわかり、授業参観では子どもの成長がわかった。 アットホームで穏やかな様子、1クラスの学年もあるので、先生の負担を心配している 教室の環境が整っていて、一人一人が大事にされているとわかる幸せな環境である。 ペーパーレス化が加速するのだろうか、子どもと一緒に見るので返事の必要なものは紙のほうが良い。スケジュールなどは時間のある時に確認できるデータが便利に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「望ましい環境で子どもを育む」を達成すべく、校地整備、カーテン補修、教育目標の教室掲示等を行った。学級目標と1年の歩みの教室掲示は学習環境の充実につながった。次年度は照明のLED化を予定している。 発達段階に応じてゆとりをもってめあてに向かって進む力が身に付いている。音楽集会や6年生ありがとう集会では1年間の伸びを実感したり学校全体で認め合ったりした。温かな眼差しが注がれ学校愛あふれる地域にご理解ご協力いただきながら、次年度も職員全員で一人一人の子どもの育ちを支えたい。 学習室の日、1年幼保小連携、2年まち探検、3年多摩川ガタガタ(干潟)、4年学芸大会、5年自然教室、6年キャリア在り方生き方教育等の特色ある学びを継続し、職員研修を充実して学び続ける学校であり続けたい。